

# 循環器内科専攻医募集

## 木村 剛 枚方公済病院長「一押しの循環器内科専門研修」

枚方公済病院は循環器診療において地域医療の最後の砦となっており、循環器診療は救急対応を中心として大変活発です。

急性冠症候群患者入院は毎日のようにあり、2023 年度の PCI 件数は 485 例で今年度はさらに増加傾向です。ただ PCI 症例数を増やしたいとして適応を軽視している訳ではなく、急性冠症候群患者を中心に症候性の患者さんが PCI 症例の大部分です。当院循環器内科医は侵襲的治療について「この治療は有効か、この治療はこの患者に必要か」を常に自問自答しながら、患者さん、御家族の希望を尊重して方針を決定しております。侵襲的治療の経験豊富な指導医が多く在籍しておりますが、専攻医の皆様に出来るだけ多くの PCI、ペースメーカー植え込み、御希望があればアブレーション手技などに参画いただく形で指導させていただいております。救急では急性冠症候群以外にも、急性心不全、心原性ショック、重症呼吸不全、敗血症性ショック、薬物中毒などの重症患者が次々と救急搬送され、経験豊富な循環器内科医が手際良く救急室、HCU で対応しております。これらの循環器内科救急診療の現場に参画することによって、これまでの当院循環器内科専攻医の皆様はめきめき実力を付けてられました。枚方公済病院での最長 24 カ月の研修で循環器、内科救急診療に大きな自信を持てるようになっていただくことをお約束しますし、これは循環器内科医として一生の財産になるものと確信しております。残りの 12 カ月以上は専門医機構や大阪府の規定で他院での連携研修になりますが、症例数の豊富な連携施設が多いので充実した内科研修が出来ます。実際の専攻医プログラムの進め方においては御本人の希望を最大限尊重しカスタマイズさせていただきます。当院と転居不要の連携病院でプログラムを組むことも可能です。専攻医プログラムの詳細は当院ホームページを御参照下さい。

学会発表や論文執筆については、英文論文の指導が出来る循環器内科医が数名在籍しており、御希望がありましたら私自身も直接御相談に乗らせていただきます。

見学希望やご不明な点がございましたら、私の方に直接ご連絡下さい。

**taketaka@kuhp.kyoto-u.ac.jp**

枚方公済病院で循環器内科診療、内科救急の実力を身に付けたいと  
お考えの皆様の応募をお待ちしております。

枚方公済病院長 木村 剛